

石巻市中央地域包括支援センター

高橋 清美(看護師／石巻市中央地域包括支援センター)

功 績 新型コロナが流行して以降、活動や交流の機会が減少していた地域住民に対して自法人の医療・介護職員の参加も一緒に促したイベントを提案・開催することで、地域住民が再び交流の場へ参加する意欲を促進させるだけでなく、医療・介護サービスを身近に感じてもらい、いつでも繋がれる存在であることをPRした功績。

推 薦 者 土屋 力也(社会福祉士／石巻市中央地域包括支援センター)

推 薦 理 由 地域住民の活動意欲や健育会グループの認知度向上、地域と自法人が繋がるために様々なアイデアを提案し実行する姿勢が理事長賞に相応しいと考え推薦します。

内 容

高橋は石巻市中央地域包括支援センターに入職して3年になります。看護師として特に地域の介護予防教室や健康・認知症についての相談対応には欠かせない存在となっています。常に新しいことに挑戦する姿勢で様々なアイデアを提案してくれます。

新型コロナウイルスが流行したことで地域の様々なサロン活動が休止に追い込まれ、コロナが落ち着いても活動再開ができていない団体が多くありました。そんな中、高橋は今年の春に包括支援センターでは初の試みである大型バスをレンタルしての「花見」、昨年と今年の秋には「ノルディックウォーキング大会」を提案・企画しました。地域住民の活動機会を得るだけでなく、そこに石巻健育会病院やしおんなどグループの職員にも参加してもらうことで地域にどのような医療・介護サービスがあるのかを知ってもらう機会にもなりました。参加者からは「今まで閉じこもっていたので外出するいいきっかけになった。」「中央包括が石巻健育会病院、老健しおん、ひまわり在宅などと繋がっていることを初めて知った。」「困ったことがあっても手厚い支援を受けられそうだね。」などの声をいただきました。中にはイベント以降も介護予防教室に参加するようになり、定期的に活動機会を持てるようになった地域住民も多くいます。

業務は多忙ですが地域住民と自法人が繋がることをまず第一に考え、グループ全体で利用者を守ることができるようなアイデアを出し、実行する姿は他の職員にとっても良い刺激になっています。